



JAひろしま青壮年連盟芸南地区本部総会

ＪＡひろしま青壮年連盟芸南地区本部は５月２７日、木谷コミュニティセンターで令和６年度総会を開き、盟友やＪＡ職員など１３名が参加しました。

総会では、令和5年度の事業報告と令和6年度の事業計画などを協議し、すべて承認されました。

また、農業体験イベント（グリーンツーリズム）では、11月に馬鈴しょの掘り取りを体験してもらい、掘った馬鈴しょを試食してもらうことを決定しました。



赤馬鈴しょ出荷組合総会  
特産馬鈴しょの産地を守る

東広島市安芸津町の赤馬鈴しよ出荷組合は、5月11日に同市立木谷小学校で令和6年度の通常総会を開催しました。生産者やJAひろしま、広島県、東広島市など約100名が参加し、令和6年度事業計画など2議案を満場一致で決定しました。国重組合長は、「昨年の秋作は今まで経験したことのない高温、干ばつにより過去最低の生産量となり、改めて地球温暖化の影響を感じた。今後環境変化に素早く対応し、特産赤馬鈴しよ産地の維持発展に全力を注ぐ」と語られました。



令和6年度  
第1回ふれあい委員会開催

安芸津支店ふれあい委員会は、5月29日に令和6年度第1回の委員会を開催し、委員とJA職員14名が参加しました。

坂光由香里支店長より、各委員へ委嘱状が手渡されたのち、委員長、副委員長の選任が行なわれ、委員長に谷崎勝則さん、副委員長に国重浩二さんと岩佐尚子さんが選任されました。

今年度の活動計画、予算について協議を行ない全て承認されました。





## 野菜 7月

### 馬鈴しょ

春作の収穫も終わり、秋作に向け  
ほ場の整備を行なう時期となります。  
収穫後に土の中に残ったイモの  
かけらなどから発芽した芽（野良生  
え）は、ウイルス病や害虫の温床と  
なるので、イモと一緒に取り除きま  
しょう。

### 野菜

#### ●病害虫防除について

高温多湿な7月は、病害虫の多発  
する時期です。早めの防除を行ない  
ましょう。最適な農薬散布のタイミ

ングは雨の降らない日の早朝、また  
は夕方です。  
昼間の散布は高温で葉が変色する  
など、薬害が出やすくなるので注意  
が必要です。

また、薬剤は乾いてから効果が発  
現しますので、散布直後に強い降雨  
があった場合は、効果がでないもの  
として、天候が回復してから別の農薬  
で防除を行なってください。

散布作業のポイントとして、葉裏  
にしっかりとかかるように株元から先  
端に向けノズルを操作します。作  
物の上から散布するだけでは散布  
ムラが起きやすいので気を付けま  
しょう。

#### ●その他

##### 〈梅雨明け後の管理〉

梅雨明け後は、急激な乾燥で土壌  
の水分が減りやすくなります。作物  
へシヨックを与えないため、株元へ  
不織布やワラなどを敷くと、適度な  
湿度を保ち、安定した成育につな  
がります。

##### 〈7月の種まき〉

暑くなると作業もしづらくなりま  
すが夏〜初秋の収穫をめざし、次の  
作物を作付してはいかがでしょう  
か？（品種についてはメーカーカタ

散布しましょう。

8月の防除作業の重点となるの  
は、果実の黒点病発生をいかに防止  
するかです。枯枝が感染源となり、  
降雨により果実に黒点がつく病気で  
す。特に樹の高い位置にある枯枝は  
早目に除去しましょう。（レモンを  
早期に出荷される方は、黒点病防除  
薬剤の収穫前日数に注意し散布しま  
しょう）

暑い時期の作業となりますので、  
体調に十分注意しながら防除作業を  
行ないましょう。

#### ●フィガロンの散布で品質向上!!

8月下旬は、熟期促進・品質向上  
目的の2回目の散布時期となります。  
す。樹勢の強い樹に、フィガロン液  
剤3,000倍液と樹勢維持対策で  
葉面マグ600倍液を混用散布しま  
しょう。

### びわ

#### ●収穫後のせん定

果痕枝（収穫後の枝）から発生し  
た2本〜3本の新梢は外向きの芽を  
残し、それ以外は1葉残してせん定  
し、来年の予備枝とします。

ログなどを参照ください）  
7月に作付する作物例…  
ニンジン

（7月末に種まきすると↓10月収  
穫開始）

コマツナ・ミズナ・チンゲンサイ  
（種まき後約1ヵ月で収穫開始）  
トウモロコシ90日型

（7月に種まきすると↓9月収穫  
開始）

#### 〈馬鈴しょの生産者のみなさまへ〉

馬鈴しょの「ウイルス病」が多発  
しています。感染源となる「アブラ  
ムシ」を防除しないと、生産量が減  
少し大きな被害をもたらします。畑  
に残ったイモも感染源となるため、  
早めの除去が必要です。作付けする  
種イモは連作せず、健全な製品を購  
入しましょう。切断でも感染しやす  
いので、包丁は作業中に必ず殺菌し  
ましょう。

#### 〈生産工程管理日誌を提出しまし う!〉

生産工程管理日誌は作業記録とし  
ても利用でき、事故から生産者・消  
費者を守る大事な記録です。農薬使  
用は細心の注意を払い、正確な記入  
と提出をお願いします。

#### 農薬使用の注意点

- ・使用者自身の安全のため、農薬の  
製品ラベルに従った保護具を着用  
しましょう。
- ・環境への安全のため、周辺住民  
や農家に配慮し掲示版などで農薬  
の使用を事前に伝え、農薬が飛散  
してかからないように注意しま  
しょう。
- ・作物の残留農薬が問題となつて  
いますが、農薬の製品ラベルに従  
い、決められた作物種、使用量、  
使用時期、使用回数などを確実に  
守れば基準値を超えることはありません。

果樹問 安芸津アグリセンター  
TEL 0846-4510488

担当 広果連駐在技術員 栗木 富生



## 果樹 8月

### かんきつ

#### ●病害虫防除

今月の病害虫対策として、ミカン  
バエ対策と黒点病対策が重要になり  
ます。

ミカンバエ防除は、8月上旬〜  
8月中旬にモスピラン顆粒水溶剤  
（劇）4,000倍液と8月下旬にス  
タークル顆粒水溶剤2,000倍液  
を必ず散布しましょう。また、8月  
下旬には黒点病対策としてジマンダ  
イセン水和剤600倍液（または、  
ペンコゼブ水和剤600倍液）、ミ  
カンハダニ・サビダニ対策としてダ  
ニゲッターフロアブル2,000倍  
液を混用散布しましょう。どちらの  
防除にも品質向上（浮皮軽減・果皮  
強化）のためにカルビタP770倍  
液を混用しましょう。

中晩柑類（特に、レモン・ネー  
ブル・はるみ・はれひめなど）は、か  
いよう病罹病性品種のため、台風前  
にクプロシールド2,000倍液を

## 7月の野菜作付情報

安芸津アグリセンターでは、直売所などJA出荷者の  
支援として、128穴セルトレイでの野菜苗の生産・供給  
を行なっています。  
数に限りがありますので、お早目にお問い合わせ頂させ  
びご利用ください。

#### 今月の供給品目

| 品目名  | 品種名 | 販売予定  | 収穫予定  |
|------|-----|-------|-------|
| キャベツ | 初秋  | 7月中旬〜 | 9月中旬〜 |

※在庫・価格等詳細については随時お問い合わせください。  
※特注品についても相談の上、対応致します。



128穴セルトレイ



（商品例）ブロッコリー苗

野菜問 営農経済課  
TEL 0846-4513360  
担当 久保勝義

あなたとわたしの  
ふれあい市

自然に恵まれ「人と人との豊かな生活」がそこにある



# JAひろしま ふれあい市安芸津店

東広島市安芸津町風早647番地8

ふれあい市は、『農業者の所得増大』『農業生産の拡大』『地域の活性化』を基本目標とし、地産地消に取り組んでいます。



## 7月の おすすめ

梅雨明けと同時に猛暑の季節となりますね。

今年は「ラニーニャ現象」の影響で夏はより暑く、冬はより寒い予想がされています。水分をしっかりと摂って夏を乗り越えましょう！

ふれあい市では、猛暑にぴったりのみずみずしい野菜や果物が入荷しています。どうぞお立ち寄りください♪

トマト

桃

キュウリ

なすび

スイカ

夏野菜は水分を多く含んだ食材が多く、体の中の熱を冷ましてくれます。また、同じ野菜でも、旬の時期はほかの時期に比べ栄養価が高くなっているそうです。季節感も感じられて、より一層おいしさを感じることができるかもしれませんね。

### 出荷会員募集中

自慢の農産物を出荷してみませんか？興味のある方は下記の連絡先までお問い合わせください。

☎0846-46-1166

ふれあい市安芸津店 担当：松本まで

※写真はイメージです。